

大阪市立大学大学院経済学研究科

経済格差研究センター研究員

大西 祥恵

表1 問1 年齢はおいくつですか

	人数	割合
20歳未満	0	0.0
20-24歳	0	0.0
25-29歳	0	0.0
30-34歳	3	3.7
35-39歳	3	3.7
40-44歳	7	8.5
45-49歳	9	11.0
50-54歳	13	15.9
55-59歳	24	29.3
60-64歳	18	22.0
65-69歳	5	6.1
70-74歳	0	0.0
75歳以上	0	0.0
有効回答者数	82	100.0
不明	0	
合計	82	

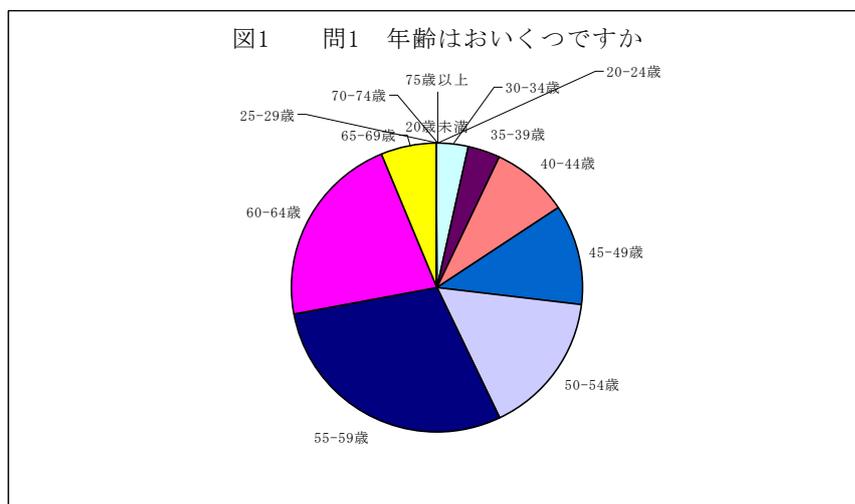
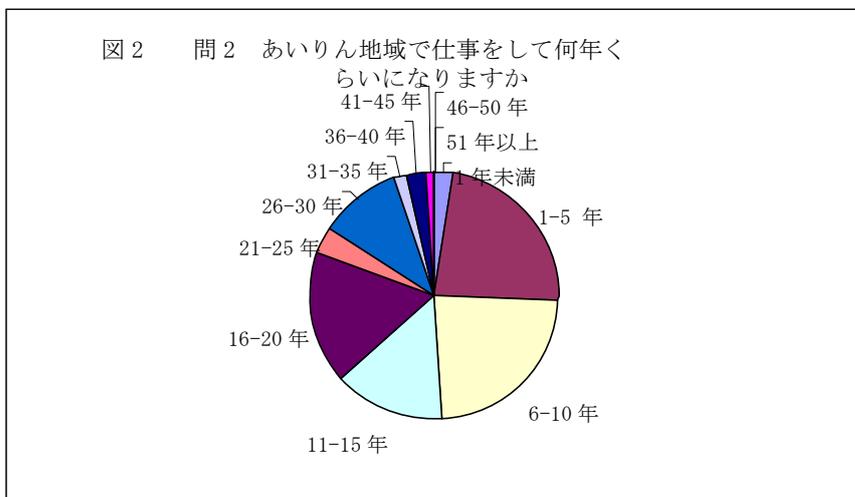


表 1、図 1 は、年齢についてみたものである。最も多かったのは「55-59 歳」で 24 人 (29.3%)、次いで「60-64 歳」と「50-54 歳」が多くなっており、それぞれ 18 人 (22.0%)、13 人 (15.9%) となっている。50 歳代から 60 歳代前半を合計すると 6 割 5 分を超えている。

表 2 問 2 あいりん地域で仕事をして何年くらいになりますか

	人数	割合
1 年未満	2	2.4
1-5 年	19	23.2
6-10 年	19	23.2
11-15 年	12	14.6
16-20 年	14	17.1
21-25 年	3	3.7
26-30 年	9	11.0
31-35 年	1	1.2
36-40 年	2	2.4
41-45 年	1	1.2
46-50 年	0	0.0
51 年以上	0	0.0
有効回答者数	82	100.0
不明	0	
非該当	0	
合計	82	



あいりん地域で仕事をして何年くらいになるかを問うたところ、最も多かったのは「1-5年」と「6-10年」で、いずれも19人(23.2%)となっている(表2、図2)。また、「16-20年」と回答した者も14人(17.1%)と比較的多くなっている。これらに「1年未満」、「16-20年」を加えてこの20年間にあいりん地域での仕事を始めた者の割合をみると、実に8割を超えている。

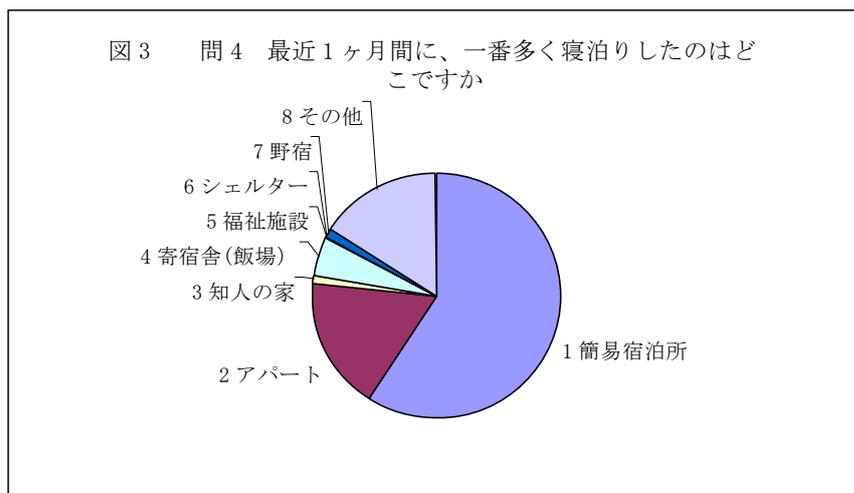
表3 問3 現在、住んでいるのは、
あいりん地域内ですか

	人数	割合
はい	62	75.6
いいえ	20	24.4
有効回答者数	82	100.0
不明	0	
合計	82	

表3は、現在住んでいるのはあいりん地域内かを聞いた結果である。「はい」と回答した者が62人(75.6%)となっており多数があいりん地域内に居住していることがわかる。

表4 問4 最近1ヶ月間に、一番多く
寝泊りしたのはどこですか

	人数	割合
1 簡易宿泊所	48	59.3
2 アパート	14	17.3
3 知人の家	1	1.2
4 寄宿舍(飯場)	4	4.9
5 福祉施設	0	0.0
6 シェルター	0	0.0
7 野宿	1	1.2
8 その他	13	16.0
有効回答者数	81	100.0
不明	1	
合計	82	



最近1ヶ月間に、一番多く寝泊りした場所を問うたところ、最も多かったのが「簡易宿泊所」で48人（59.3%）となっており、約6割に上っている（表4、図3）。続いて、「アパート」と回答した者が14人（17.3%）で1割5分を超えている。

表5 問5 日雇雇用保険手帳(白手帳)を持っていますか

	人数	割合
1 持っている	82	100.0
2 以前は持っていたが、今は持っていない	0	0.0
3 作ったことがない	0	0.0
有効回答者数	82	100.0
不明	0	
合計	82	

表5は日雇雇用保険手帳（白手帳）の所持について聞いた結果を示したものである。この「認定調査」が日雇雇用保険の給付手続きをする場で実施されていることを反映してか、全員が「持っている」と回答している。

表 6 問 5-1 日雇雇用保険手帳(白手帳)を持っている場合
の今月の認定資格

	人数	割合
有	80	97.6
無	2	2.4
有効回答者数	82	100.0
不明	0	
非該当	0	
合計	82	

日雇雇用保険手帳(白手帳)を所持していると回答した者に、今月の認定資格の有無を聞いたところ、「有」と回答した者が80人(97.6%)、「無」と回答した者が2人(2.4%)となっていた(表6)。今月の認定資格のある者が9割5分を超えて圧倒的多数を占めていることがわかる。

表 7 問 6-1 日雇健康保険に加入していますか。(現在)

	人数	割合
有	33	41.3
無	47	58.8
有効回答者数	80	100.0
不明	2	
合計	82	

表 8 問 6-2 建退共手帳に加入していますか。(現在)

	人数	割合
有	8	9.9
無	73	90.1
有効回答者数	81	100.0
不明	1	
合計	82	

表 9 問 6-3 国民健康保険に加入していますか。(現在)

	人数	割合
有	20	25.3
無	59	74.7
有効回答者数	79	100.0
不明	3	
合計	82	

表 10 問 6-4 国民年金に加入していますか。(現在)

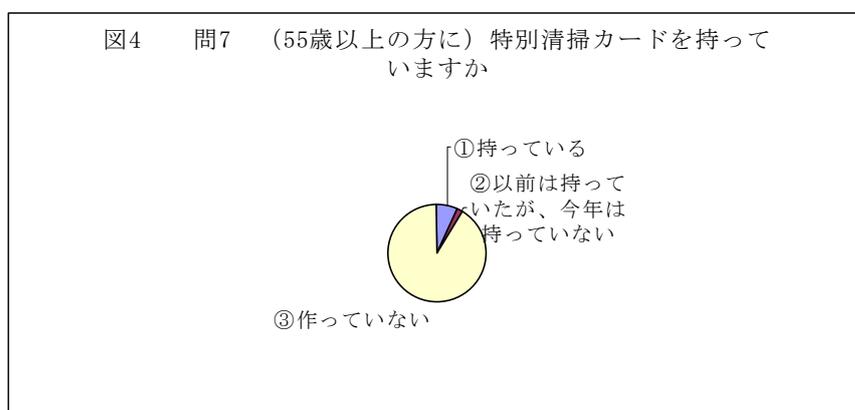
	人数	割合
有	12	14.8
無	69	85.2
有効回答者数	81	100.0
不明	1	
合計	82	

問 6 では、日雇健康保険、建退共手帳、国民健康保険、国民年金への加入状況について質問している（表 7～10）。まず、日雇健康保険については、加入していない者の方が多いものの、加入している者が 33 人（41.3%）となっており、4 割と一定数を占めている。次に、建退共手帳については加入していない者が 73 人（90.1%）となっており、9 割以上が加入していない。さらに、国民健康保険については、加入している者が 20 人（25.3%）で加入していない者の方が多いものの、加入者が一定数を占めている。また、国民年金については加入していない者が 69 人（85.2%）となっており、8 割 5 分以上が加入していない。

なお、日雇健康保険と国民健康保険はいずれも公的医療保険制度であり、制度的にどちらか一方しか加入できないことを考えると、この「認定調査」においては、公的医療保険制度に加入している者が実に 6 割 5 分を超えていることになり、相対的に高いといえる。

表 11 問 7 (55 歳以上の方に)特別清掃カードを持っていますか

	人数	割合
①持っている	3	7.0
②以前は持っていたが、今年は持っていない	1	2.3
③作っていない	39	90.7
有効回答者数	43	100.0
不明	4	
非該当	35	
合計	82	



55歳以上の者に対して、特別清掃カードを有しているかどうかについて聞いたところ、「作っていない」と回答した者が 39 人 (90.7%) となっており、9 割を超えて圧倒的多数を占めている (表 11、図 4)。

表 12 問 7-1 特別清掃カードを持っている方の輪番への参加状況

	人数	割合
ア いつも来る	1	33.3
イ たまに	1	33.3
ウ めったに来ない	1	33.3
その他	0	0.0
有効回答者数	3	100.0
不明	0	
非該当	79	
合計	82	

図5 問7-1 特別清掃カードを持っている方の輪番への参加状況



表 12、図 5 は、特別清掃カードを持っていると回答した 3 人に対して、輪番への参加状況を聞いた結果である。これによると、「いつも来る」と回答した者が 1 人、「たまに」と回答した者が 1 人、「めったに来ない」と回答した者が 1 人となっていることがわかる。

表 13 問 7-2 特別清掃カードを以前は持っていたが、今は持っていない理由(複数回答)

	人数	割合
ア 特別清掃の仕事が向いていない	0	0.0
イ 他に仕事が見つかった	1	100.0
ウ 生活保護を受給	0	0.0
エ その他	0	0.0
有効回答数	1	100.0
有効回答者数	1	
不明	0	
非該当	81	
合計	82	

図6 問7-2 特別清掃カードを以前は持っていたが、今は持っていない理由(複数回答)

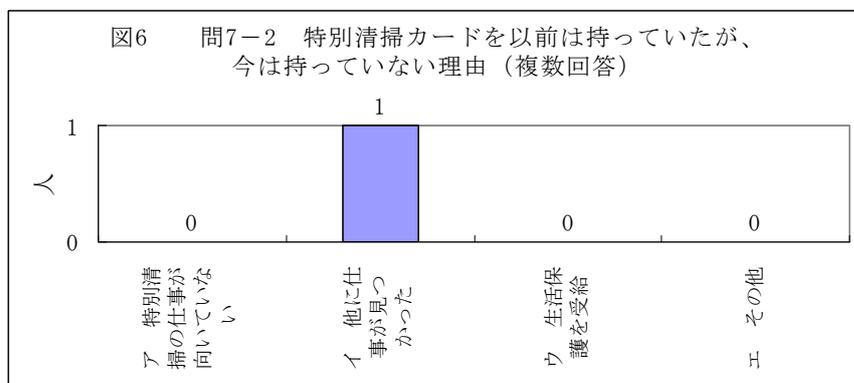
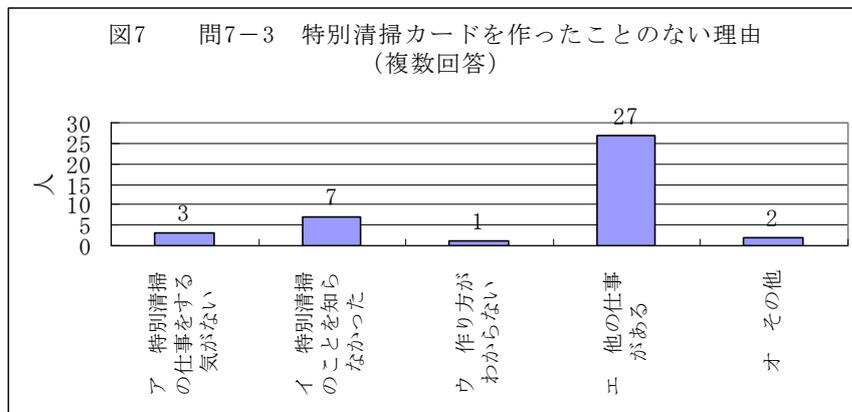


表 13、図 6 は、特別清掃カードを以前は持っていたが今は持っていないと回答した 1 人に対して、その理由を問うた結果を示したものである。これによると、「他に仕事が見つかった」という回答が得られたことがわかった。

表 14 問 7-3 特別清掃カードを作ったことのない理由(複数回答)

	人数	割合
ア 特別清掃の仕事をする気がない	3	7.9
イ 特別清掃のことを知らなかった	7	18.4
ウ 作り方がわからない	1	2.6
エ 他の仕事がある	27	71.1
オ その他	2	5.3
有効回答数	40	105.3
有効回答者数	38	
不明	1	
非該当	43	
合計	82	



特別清掃カードを作ったことがないと回答した者に、その理由を複数回答で問うた結果を示したものが表 14、図 7 である。「他の仕事がある」と答えた者が 27 人 (71.1%) となっており、7 割を超えるなど突出して多いことがわかる。

表 15 問 8 直近の仕事での収入はどうでしたか

【2008年9月の現金(日雇)と契約(期間)で仕事をした日の合計】

	人数	割合
なし	1	1.2
1-5日	1	1.2
6-10日	2	2.4
11-15日	61	74.4
16-20日	12	14.6
21-25日	4	4.9
26日以上	1	1.2
有効回答者数	82	100.0
不明	0	
非該当	0	
合計	82	

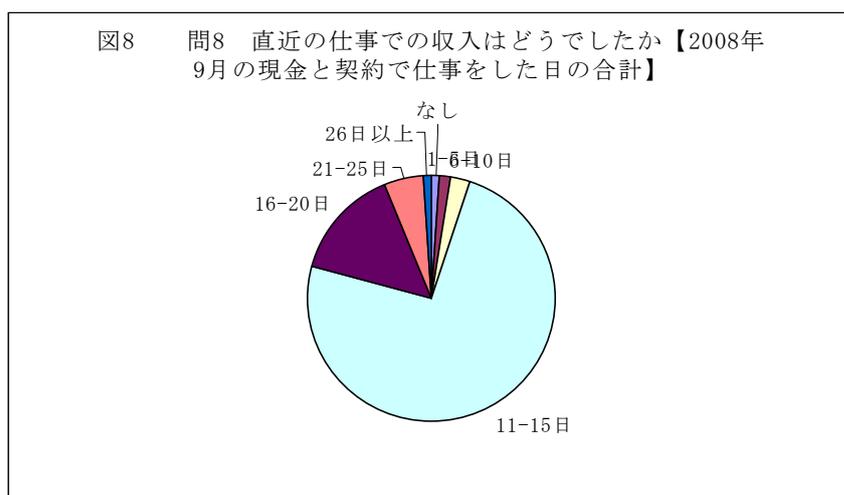


表 15、図 8 は、2008 年 9 月の現金（日雇）と契約（期間）で仕事をした日を合計した結果を示したものである。これによると、「11-15 日」と回答した者が 61 人（74.4%）と突出して多くなっている。また「16-20 日」と回答した者も 12 人（14.6%）と一定数を占めている。この「認定調査」が日雇雇用保険の給付手続きをする場で実施されていることを反映してか、1 ヶ月間の仕事の日数として、手続きの基準となる 13 日を超えて仕事をしている者が相対的に多いためだと考えられる。

表 16 【2008年9月の収入】

	人数	割合
1万円未満	0	0.0
1-5万円台	2	2.4
6-10万円台	3	3.7
11-15万円台	28	34.1
16-20万円台	37	45.1
21-25万円台	10	12.2
26-30万円台	1	1.2
31万円以上	1	1.2
有効回答者数	82	100.0
不明	0	
非該当	0	
合計	82	

※仕事による収入源には、アルミ缶集め、ダンボール集めなどによるものを含む。

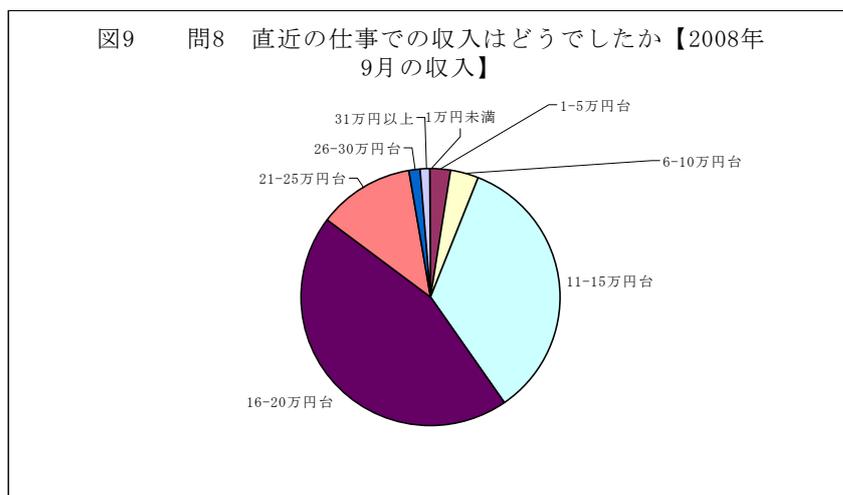


表 16、図 9 は、2008 年 9 月の仕事による収入額について聞いた結果を示したものである。最も多かったのは「16-20 万円台」と回答した者で 37 人（45.1%）と 4 割 5 分を超えている。これに、次に多かった「11-15 万円台」を合計すると 8 割弱に達している。

表 17 問 8 直近の仕事での収入はどうでしたか

【2008年10月の現金(日雇)と契約(期間)で仕事をした日の合計】

	人数	割合
なし	1	1.2
1-5日	0	0.0
6-10日	1	1.2
11-15日	60	73.2
16-20日	15	18.3
21-25日	4	4.9
26日以上	1	1.2
有効回答者数	82	100.0
不明	0	
非該当	0	
合計	82	

図10 問8 直近の仕事での収入はどうでしたか【2008年10月の現金と契約で仕事をした日の合計】

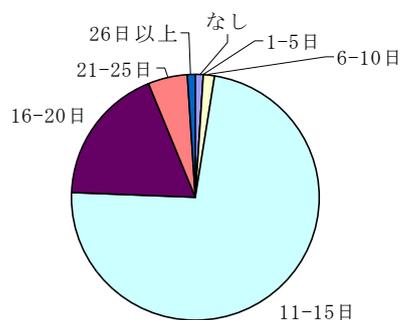


表 17、図 10 は、2008 年 9 月の現金（日雇）と契約（期間）で仕事をした日を合計した結果を示したものである。これによると、「11-15 日」と回答した者が 60 人（73.2%）と突出して多くなっている。また「16-20 日」と回答した者も 15 人（18.3%）と一定数を占めている。この「認定調査」が日雇雇用保険の給付手続きをする場で実施されていることを反映してか、1 ヶ月間の仕事の日数として、手続きの基準となる 13 日を超えて仕事をしている者が相対的に多いためだと考えられる。

表 18 【2008 年 10 月の収入】

	人数	割合
1 万円未満	0	0.0
1-5 万円台	1	1.2
6-10 万円台	1	1.2
11-15 万円台	27	32.9
16-20 万円台	42	51.2
21-25 万円台	8	9.8
26-30 万円台	2	2.4
31 万円以上	1	1.2
有効回答者数	82	100.0
不明	0	
非該当	0	
合計	82	

※仕事による収入源には、アルミ缶集め、ダンボール集めなどによるものを含む。

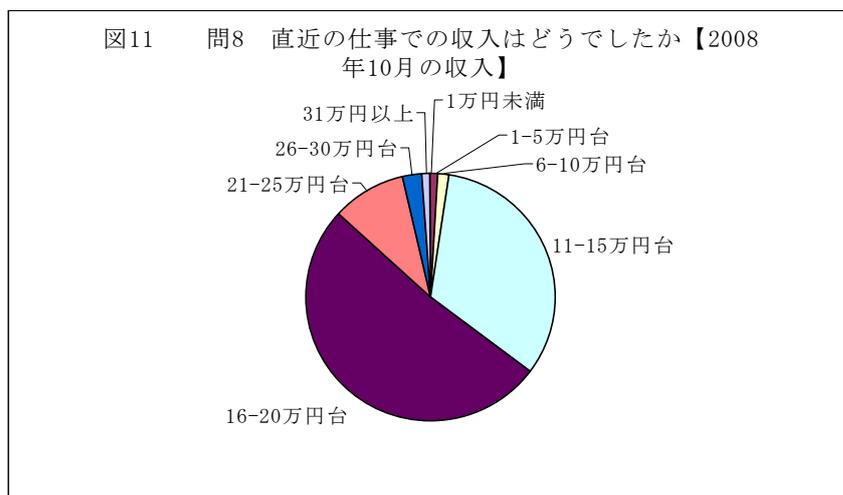


表 18、図 11 は、2008 年 10 月の仕事による収入額について聞いた結果を示したものである。最も多かったのは「16-20 万円台」と回答した者で 42 人（51.2%）と半数を超えている。これに、次に多かった「11-15 万円台」を合計すると約 8 割 5 分を占めている。

表 19 問 9 9月、10月に現金や契約で仕事をしていない理由は何ですか

	人数	割合
①仕事を探したが見つからなかった	1	100.0
②仕事を全く探していない	0	0.0
有効回答者数	1	100.0
不明	0	
非該当	81	
合計	82	

表 19 は、2008 年 9 月、10 月の 2 ヶ月間に現金、契約のいずれにおいても仕事をしていなかった 1 人に対して、仕事を探したかどうかを質問した結果を示したものである。これによると「仕事を探したが見つからなかった」との回答が得られたことがわかる。

表 20 問 9-1 その理由は何ですか(複数回答)

	人数	割合
①年齢で断られた(断られる)	0	0.0
②仕事が少ない	0	0.0
③健康に不安がある(高血圧等)	0	0.0
④体力に不安がある	0	0.0
⑤特別清掃しかできない	0	0.0
⑥自分の能力に合う仕事がない	1	100.0
⑦その他	0	0.0
有効回答数	1	100.0
有効回答者数	1	
不明	0	
非該当	81	
合計	82	

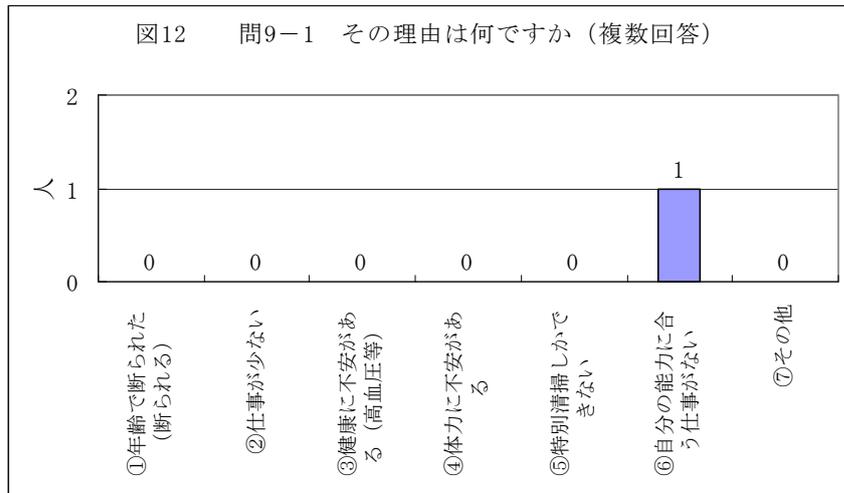
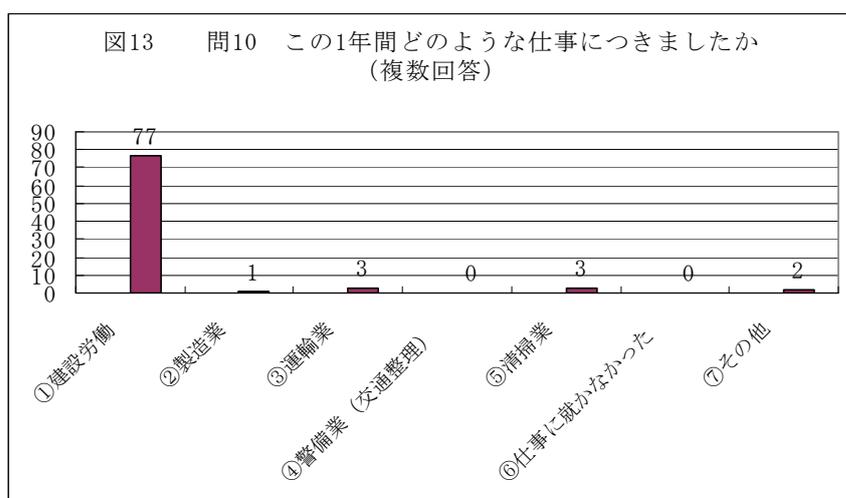


表 20、図 12 は、2008 年 9 月、10 月の 2 ヶ月間に現金、契約のいずれにおいても仕事をしていたなかった 1 人に対して、仕事を探したが見つからなかった理由を問うた結果を示したものである。これによると、「自分の能力に合う仕事がない」との回答が得られたことがわかる。

表 21 問 10 この1年間どのような仕事につきましたか
(複数回答)

	人数	割合
①建設労働	77	93.9
土工	42	51.2
とび工	7	8.5
鉄筋工	6	7.3
型枠大工	1	1.2
解体工	18	22.0
職長	2	2.4
その他職人	18	22.0
不明	1	1.2
②製造業	1	1.2
③運輸業	3	3.7
④警備業(交通整理)	0	0.0
⑤清掃業	3	3.7
⑥仕事に就かなかった	0	0.0
⑦その他	2	2.4
有効回答数	181	220.7
有効回答者数	82	
不明	0	
合計	82	



この1年間にどのような仕事についてかを複数回答で聞いたところ、「建設労働」が77人（93.9%）で圧倒的多数を占めていた（表21、図13）。「建設労働」の内訳について回答が得られたなかでは、「土工」と回答した者が最も多くなっている。

表22 問11 主にどこで仕事を探しますか

	人数	割合
①センターの寄場内	42	51.2
②センターの周辺路上(あいりん地域内)	8	9.8
③あいりん地域外	0	0.0
④特に決まっていない	3	3.7
⑤直接現場に行くので仕事を探す場所はない	29	35.4
有効回答者数	82	100.0
不明	0	
非該当	0	
合計	82	

図14 問11 主にどこで仕事を探しますか

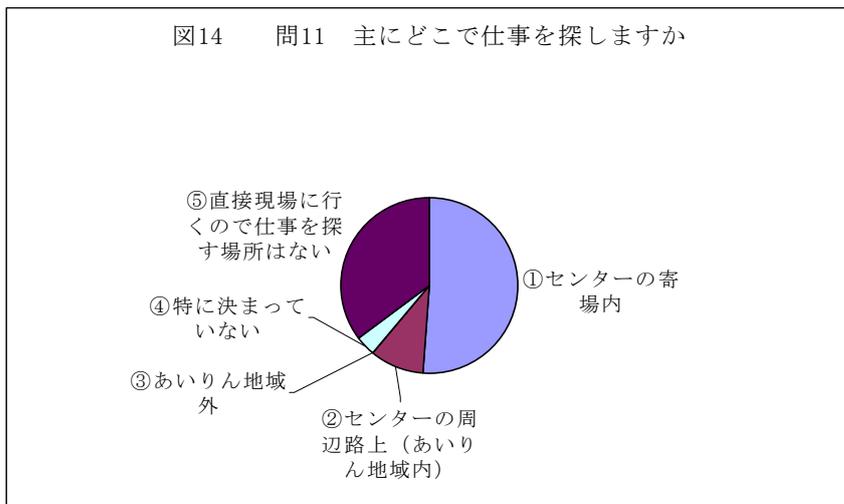


表22、図14は、主にどこで仕事を探しているかを聞いた結果を示したものである。「センターの寄場内」と回答した者が42人（51.2%）と半数を超える一方で、「直接現場に行くので仕事を探す場所はない」と回答した者も29人（35.4%）と3割5分を超えている。

表 23 問 11-1 その場所を選ぶことが多い理由は何ですか

	人数	割合
①なじみの業者がいる	30	66.7
②業者からその場所に来よう指示がある	1	2.2
③業者からの声がかかりやすい	11	24.4
④仲間や知人がいる	2	4.4
⑤特に理由はない	0	0.0
⑥その他	1	2.2
有効回答者数	45	100.0
不明	5	
非該当	32	
合計	82	

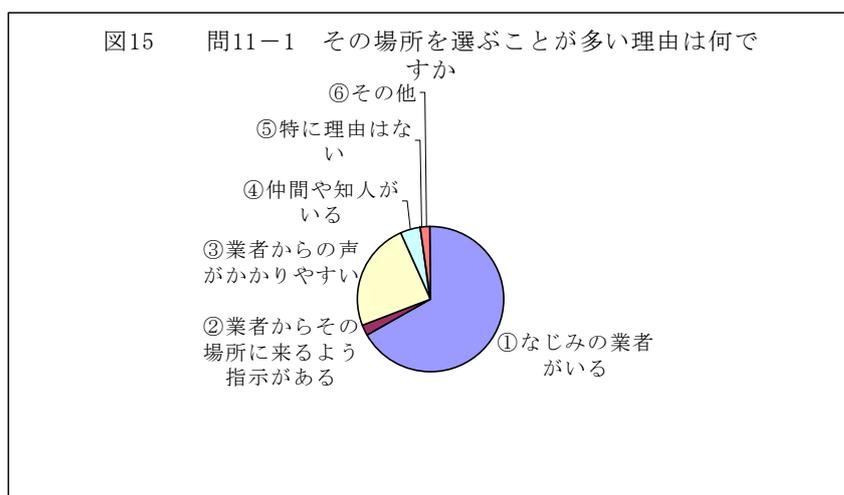


表 23、図 15 は、主に仕事を探している場所が決まっている者に対して、その場所を選んだ理由について聞いた結果を示したものである。「なじみの業者がいる」と回答した者が 30 人（66.7%）と 6 割 5 分を超えている。また、次に多かったのが「業者からの声がかかりやすい」と回答した者で 11 人（24.4%）と約 4 分の 1 を占めている。

表 24 問 11-2 その場所へは、定期的に行っていますか

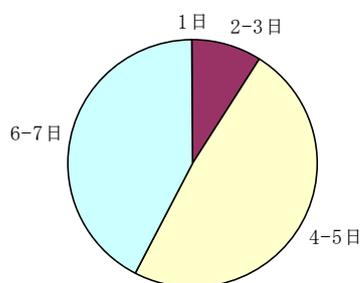
	人数	割合
①はい	35	70.0
②いいえ	15	30.0
有効回答者数	50	100.0
不明	0	
非該当	32	
合計	82	

表 24 は、主に仕事を探している場所が決まっている者に対して、そこへ定期的に行っているかどうかについて見たものである。「はい」と回答した者が 35 人（70.0%）と 7 割に上っている。

表 25 問 11-2① その場所へ定期的に行っている日数(1 週間に○日)

	人数	割合
1 日	0	0.0
2-3 日	3	9.1
4-5 日	16	48.5
6-7 日	14	42.4
有効回答者数	33	100.0
不明	2	
非該当	47	
合計	82	

図16 問11-2① その場所へ定期的に行っている日数
(1週間に○日)



主に仕事を探す場所が決まっている者が、その場所へ定期的に行っている場合、その日数を聞いたところ、1週間あたり「4-5日」と回答した者が16人（48.5%）と半数近くになっている（表25、図16）。また「6-7日」と回答した者も約4割を超えている。

1週間のうちの4日以上、決まった場所へ行っている者が9割に上っていることがわかる。

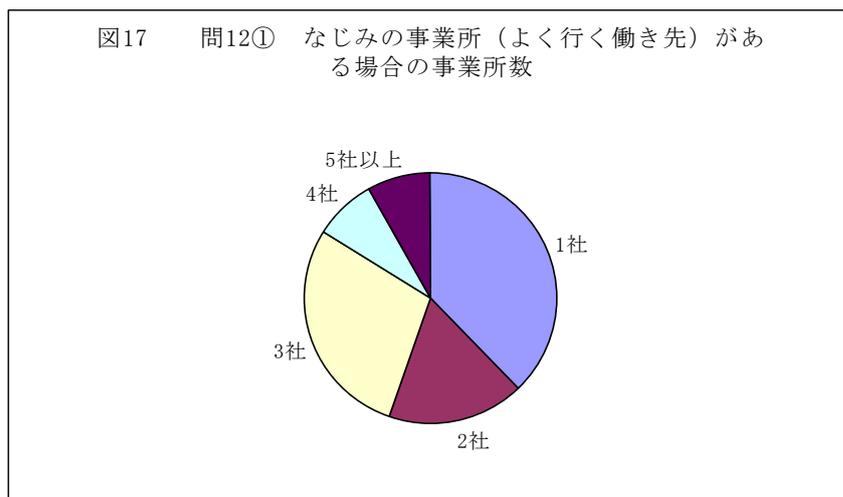
表26 問12 なじみの事業所(よく行く働き先)はありますか

	人数	割合
①ある	76	92.7
②ない	6	7.3
有効回答者数	82	100.0
不明	0	
非該当	0	
合計	82	

なじみの事業所の有無について聞いたところ、「ある」と回答した者が76人（92.7%）となっている（表26）。実に9割以上の者がなじみの事業所（よく行く働き先）を有していることがわかる。

表27 問12① なじみの事業所(よく行く働き先)がある場合の事業所数

	人数	割合
1社	28	37.8
2社	13	17.6
3社	21	28.4
4社	6	8.1
5社以上	6	8.1
有効回答者数	74	100.0
不明	2	
非該当	6	
合計	82	

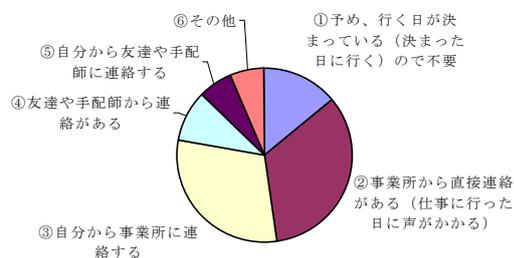


なじみの事業所があると回答した者に、その数を聞いたところ「1社」と回答した者が最も多く 28 人（37.8%）であった。また、「3社」と回答した者が 21 人で 3 割近くに上っている。なじみの事業所が 1～3 社であるという者が、8 割を超えている。

表 28 問 12-1 その事業所に行くことは、どうやって決めますか

	人数	割合
①予め、行く日が決まっている(決まった日に行く)ので不要	9	14.3
②事業所から直接連絡がある(仕事に行った日に声がかかる)	21	33.3
③自分から事業所に連絡する	19	30.2
④友達や手配師から連絡がある	6	9.5
⑤自分から友達や手配師に連絡する	4	6.3
⑥その他	4	6.3
有効回答者数	63	100.0
不明	13	
非該当	6	
合計	82	

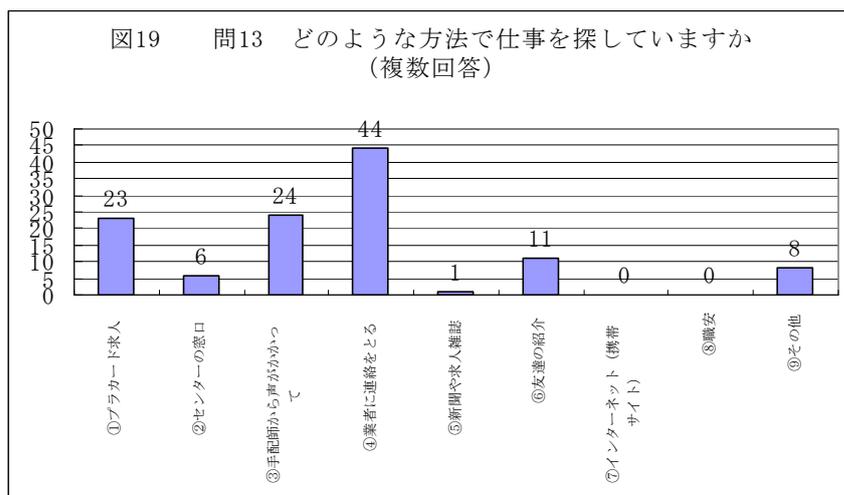
図18 問12-1 その事業所に行くことは、どうやって決めますか



さらに、その事業所に行くことはどうやって決めるかを聞いたところ、「事業所から直接連絡がある（仕事に行った日に声がかかる）」と回答した者が最も多く 21 人（33.3%）となっている（表 28、図 18）。次いで、「自分から事業所に連絡する」が多く、19 人（30.2%）で、こちらも 3 割を占めている。

表 29 問 13 どのような方法で仕事を探していますか
（複数回答）

	人数	割合
①プラカード求人	23	29.1
②センターの窓口	6	7.6
③手配師から声がかかって	24	30.4
④業者に連絡をとる	44	55.7
⑤新聞や求人雑誌	1	1.3
⑥友達の紹介	11	13.9
⑦インターネット(携帯サイト)	0	0.0
⑧職安	0	0.0
⑨その他	8	10.1
有効回答数	117	148.1
有効回答者数	79	
不明	3	
合計	82	



どのような方法で仕事を探しているかを複数回答で聞いたところ、「業者に連絡をとる」と回答した者が44人(55.7%)で半数を超えている。次いで多いのが、「手配師から声がかかって」、「プラカード求人」で、それぞれ24人(30.4%)、23人(29.1%)と約3割を占めている。

表30 問14 携帯電話で仕事探しをしたり、携帯電話で仕事の連絡をしたりすることがありますか

	人数	割合
①ある	48	58.5
②ない(携帯電話を持っていない)	34	41.5
有効回答者数	82	100.0
不明	0	
合計	82	

表30は、携帯電話で仕事を探したり、携帯電話で仕事の連絡をしたりすることがあるかどうかを聞いた結果を示したものである。「ある」と回答した者が48人(58.5%)、「ない(携帯電話を持っていない)」と回答した者が34人(41.5%)となっており、携帯電話を有している者は約6割に上っていることがわかる。

表 31 問 15 仕事を探す時プラカードを参考にしますか？

	人数	割合
①参考になっている	24	30.0
②参考にしていない	17	21.3
③自分にとっては関係ない	37	46.3
④プラカードが何かわからない	2	2.5
有効回答者数	80	100.0
不明	2	
合計	82	

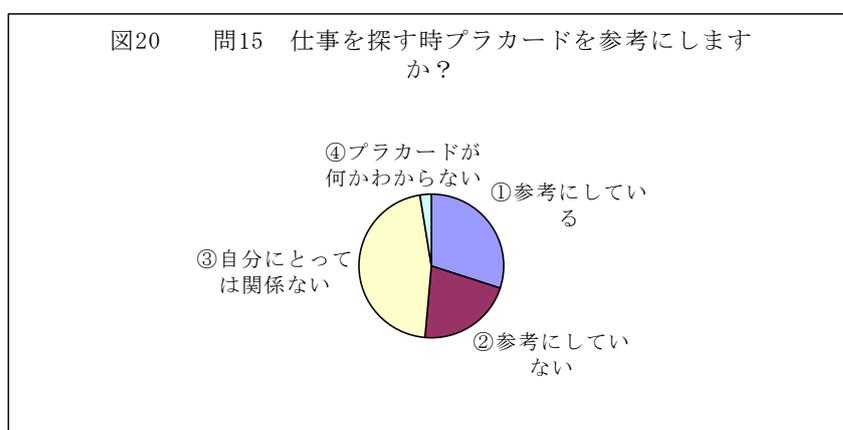
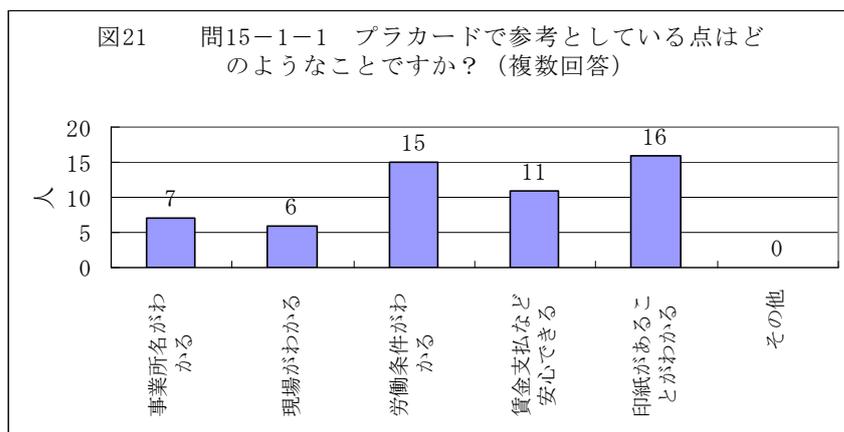


表 31、図 20 は、仕事を探す時に、プラカードを参考にするかどうかを聞いた結果を示したものである。「自分にとっては関係ない」と回答した者が最も多く、37人（46.3%）に上っている。一方、「参考になっている」と回答した者は24人（30.0%）で3割みられる。

表 32 問 15-1-1 プラカードで参考としている点はどのようなことですか？(複数回答)

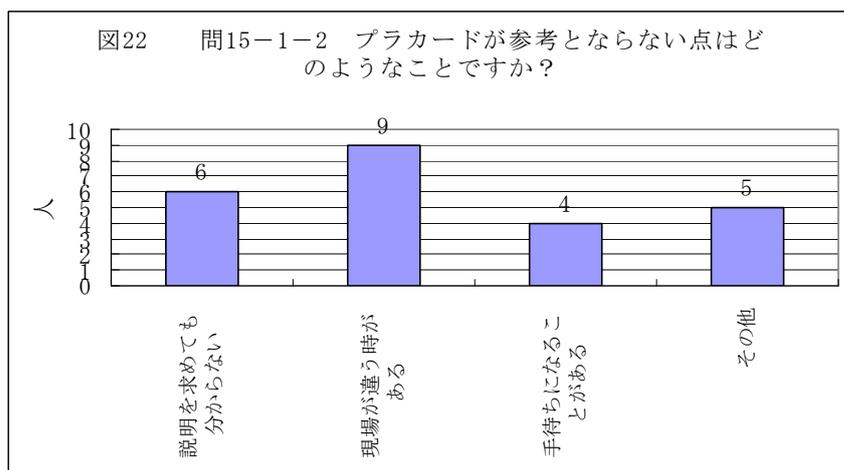
	人数	割合
事業所名がわかる	7	29.2
現場がわかる	6	25.0
労働条件がわかる	15	62.5
賃金支払など安心できる	11	45.8
印紙があることがわかる	16	66.7
その他	0	0.0
有効回答数	55	229.2
有効回答者数	24	
不明	0	
非該当	58	
合計	82	



仕事を探す時に、プラカードを参考にしている者に対して、プラカードで参考にしている点は何のようなことかを、複数回答で聞いた結果を示したのが表 32、図 21 である。回答者が多かったのは、「印紙があることがわかる」、「労働条件がわかる」の項目で、それぞれ 16 人 (66.7%)、15 人 (62.5%) と 6 割を超えている。また、「賃金支払など安心できる」と回答した者も 11 人 (45.8%) おり、一定数を占めている。

表 33 問 15-1-2 プラカードが参考とならない点はどのようなことですか？(複数回答)

	人数	割合
説明を求めても分からない	6	42.9
現場が違う時がある	9	64.3
手待ちになることがある	4	28.6
その他	5	35.7
有効回答数	24	171.4
有効回答者数	14	
不明	27	
非該当	41	
合計	82	



仕事を探す時に、プラカードを参考に行っている者と、参考に行っていない者に対して、プラカードが参考とならない点はどのようなことかを聞いた結果を示したのが表 33、図 22 である。最も多かったのが「現場が違う時がある」と回答したもので、9人(64.3%)と6割5分に上っている。次いで多かったのが「説明を求めても分からない」で、6人(42.9%)みられる。

表 34 問 16 西成センターの窓口で仕事の紹介をしているのを知っていますか

	人数	割合
①知っている	70	86.4
②知らない	11	13.6
有効回答者数	81	100.0
不明	1	
合計	82	

表 34 は、西成センターの窓口で仕事の紹介をしているのを知っているかどうかを聞いた結果を示したものである。「知っている」と回答した者が 70 人（86.4%）と 8 割 5 分を超えて圧倒的多数を占めている。

表 35 問 16-1 窓口紹介の方法で改善したほうがいいと思うことはどのようなことですか（複数回答）

	人数	割合
①抽選紹介ではなく技能に応じた紹介にしてほしい	2	3.3
②紹介の時間帯を変えてほしい	0	0.0
③仕事の内容をもっと詳しく説明してほしい	7	11.5
④宿舎（寄宿舎）の状況をもっと詳しく教えてほしい	3	4.9
⑤携帯電話で求人内容を見れるようにしてほしい	0	0.0
⑥その他	24	39.3
⑦特にない	27	44.3
有効回答数	63	103.3
有効回答者数	61	
不明	9	
非該当	12	
合計	82	

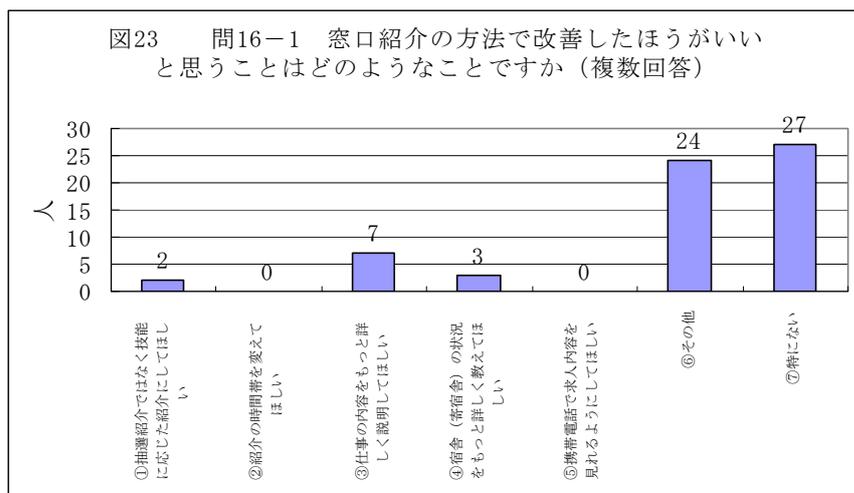
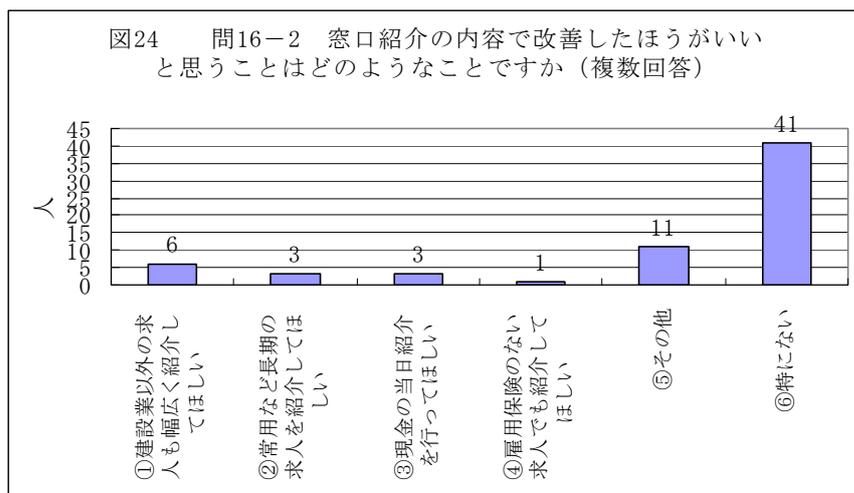


表 35、図 23 は、西成センターの窓口で仕事の紹介をしているのを知っている者に対して、窓口紹介の方法で改善したほうがいいと思うことはどのようなことかを複数回答で聞いた結果を示したものである。「特にない」が最多で 27 人（44.3%）と 4 割 5 分に上っている。

表 36 問 16-2 窓口紹介の内容で改善したほうがいいと思うことはどのようなことですか（複数回答）

	人数	割合
① 建設業以外の求人も幅広く紹介してほしい	6	9.8
② 常用など長期の求人を紹介してほしい	3	4.9
③ 現金の当日紹介を行ってほしい	3	4.9
④ 雇用保険のない求人も紹介してほしい	1	1.6
⑤ その他	11	18.0
⑥ 特にない	41	67.2
有効回答数	65	106.6
有効回答者数	61	
不明	9	
非該当	12	
合計	82	



さらに、窓口紹介の内容で改善したほうがいいと思うことはどのようなことかを複数回答で聞いたところ、「特にない」と回答した者が41人（67.2%）で6割5分を超えて、最も多かった。

表 37 問 17 西成労働福祉センターの他、あいりん労働センターでよく使う(週1日以上)施設は、どこですか（複数回答）

	人数	割合
①あいりん職安	66	81.5
②玉出社会保険事務所の窓口	14	17.3
③食堂、売店	24	29.6
④理髪店	0	0.0
⑤ロッカールーム	0	0.0
⑥シャワールーム	0	0.0
⑦その他	3	3.7
⑧特にない	9	11.1
有効回答数	116	143.2
有効回答者数	81	
不明	1	
合計	82	

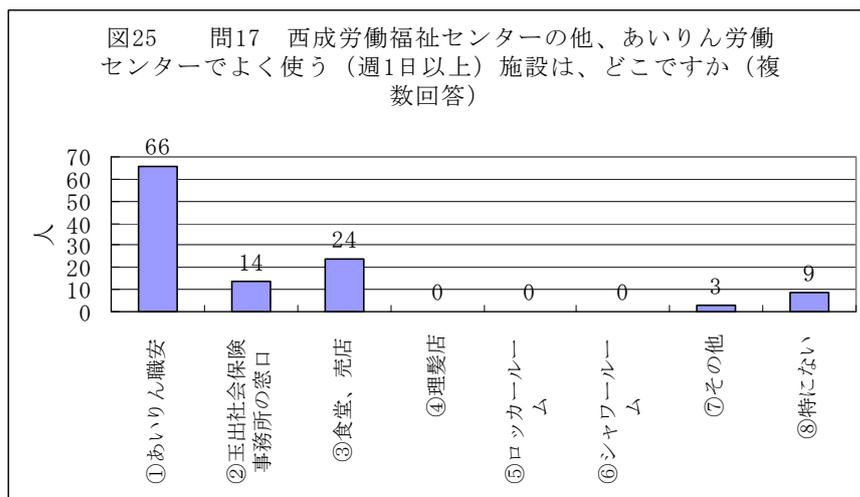
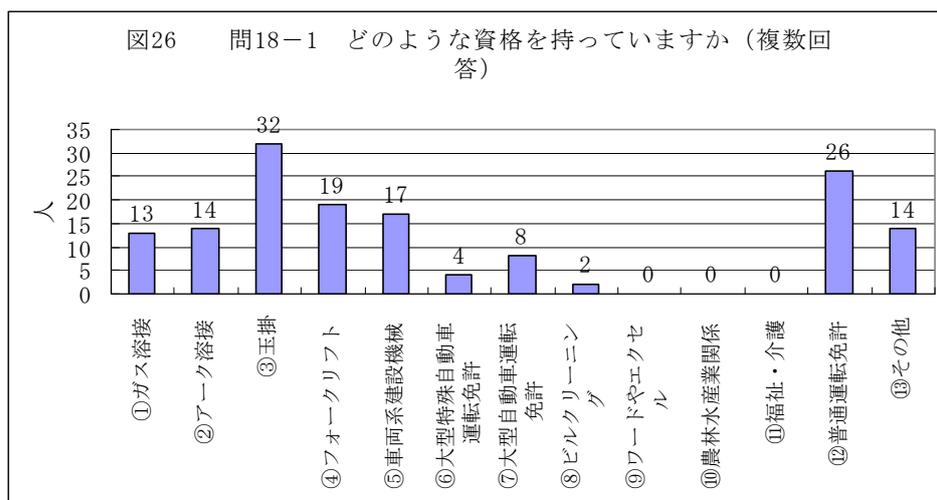


表 37、図 25 は、西成労働福祉センターの他、あいりん労働センターでよく使う（週 1 日以上）施設はどこかを、複数回答で聞いた結果を示したものである。「あいりん職安」が 66 人（81.5%）と 8 割を超えており、突出して多くなっている。

表 38 問 18-1 どのような資格を持っていますか（複数回答）

	人数	割合
①ガス溶接	13	20.6
②アーク溶接	14	22.2
③玉掛	32	50.8
④フォークリフト	19	30.2
⑤車両系建設機械	17	27.0
⑥大型特殊自動車運転免許	4	6.3
⑦大型自動車運転免許	8	12.7
⑧ビルクリーニング	2	3.2
⑨ワードやエクセル	0	0.0
⑩農林水産業関係	0	0.0
⑪福祉・介護	0	0.0
⑫普通運転免許	26	41.3
⑬その他	14	22.2
有効回答数	149	236.5
有効回答者数	63	
不明・無回答	19	
合計	82	

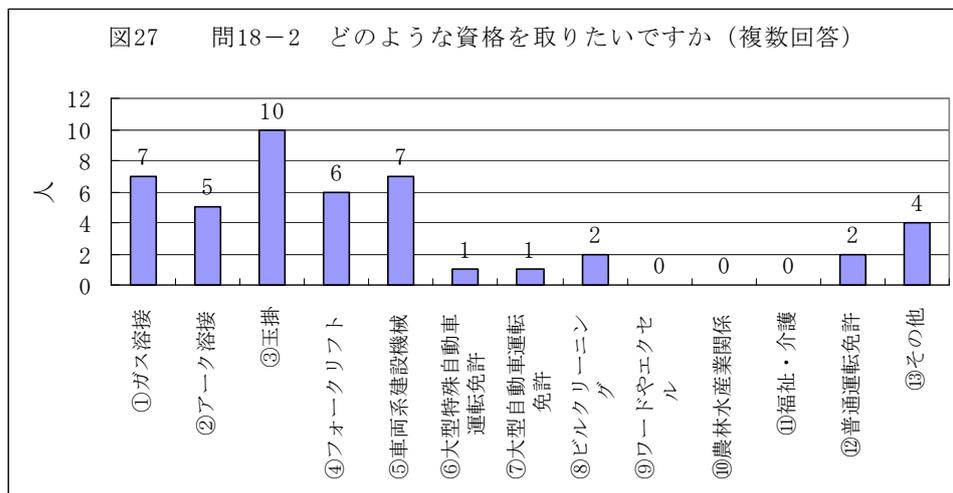


どのような資格を持っているのかを複数回答で聞いた結果を示したのが表 38、図 26 である。多いものを順にみると、「玉掛」で 32 人 (50.8%)、「普通運転免許」で 26 人 (41.3%)、「フォークリフト」で 19 人 (30.2%)、「車両系建設機械」で 17 人 (27.0%) となっている。

一方、資格を有している者がいなかった項目は「ワードやエクセル」、「農林水産業関係」、「福祉・介護」である。

表 39 問 18-2 どのような資格を取りたいですか(複数回答)

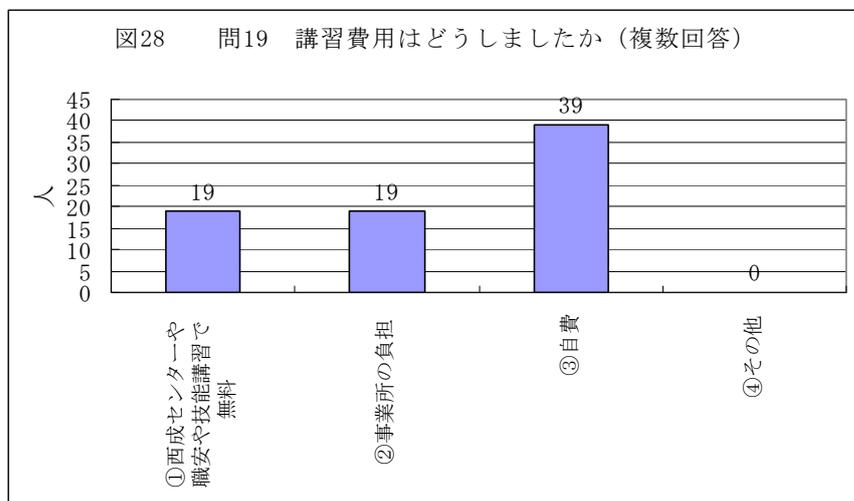
	人数	割合
①ガス溶接	7	24.1
②アーク溶接	5	17.2
③玉掛	10	34.5
④フォークリフト	6	20.7
⑤車両系建設機械	7	24.1
⑥大型特殊自動車運転免許	1	3.4
⑦大型自動車運転免許	1	3.4
⑧ビルクリーニング	2	6.9
⑨ワードやエクセル	0	0.0
⑩農林水産業関係	0	0.0
⑪福祉・介護	0	0.0
⑫普通運転免許	2	6.9
⑬その他	4	13.8
有効回答数	45	155.2
有効回答者数	29	
不明・無回答	53	
合計	82	



次に、どのような資格を取りたいかについて質問した結果を示したのが表 39、図 27 である。相対的に多かったのは「玉掛」と回答した者で 10 人 (34.5%)、「ガス溶接」、「車両系建設機械」と回答した者でそれぞれ 7 人 (24.1%) みられる。

表 40 問 19 講習費用はどうしましたか(複数回答)

	人数	割合
①西成センターや職安や技能講習で無料	19	31.1
②事業所の負担	19	31.1
③自費	39	63.9
④その他	0	0.0
有効回答数	77	126.2
有効回答者数	61	
不明・非該当	21	
合計	82	



前問で何らかの資格を取得していると回答した者に対して、その講習費用をどうしたのかについて複数回答で聞いた結果を示したのが表 40、図 28 である。「自費」が 39 人 (63.9%) と 6 割を超えて最も多くなっている。

表 41 問 20 会社勤めなど常用の仕事を希望していますか

	人数	割合
①希望している	29	35.4
②希望していない	53	64.6
有効回答者数	82	100.0
不明	0	
合計	82	

表 41 は、会社勤めなど常用の仕事を希望しているかどうかについてみたものである。「希望している」と回答した者が 29 人 (35.4%) と 3 割 5 分みられる。一方、「希望していない」と回答した者は 53 人 (64.6%) と 6 割 5 分近くを占めている。

表 42 問 20-1 希望する職種は何ですか
(複数回答)

	人数	割合
①建設業	21	72.4
②製造業	4	13.8
③運輸業	2	6.9
④清掃業	0	0.0
⑤警備業	0	0.0
⑥農林漁業	0	0.0
⑦事務	0	0.0
⑧その他	5	17.2
有効回答数	32	110.3
有効回答者数	29	
不明	0	
非該当	53	
合計	82	

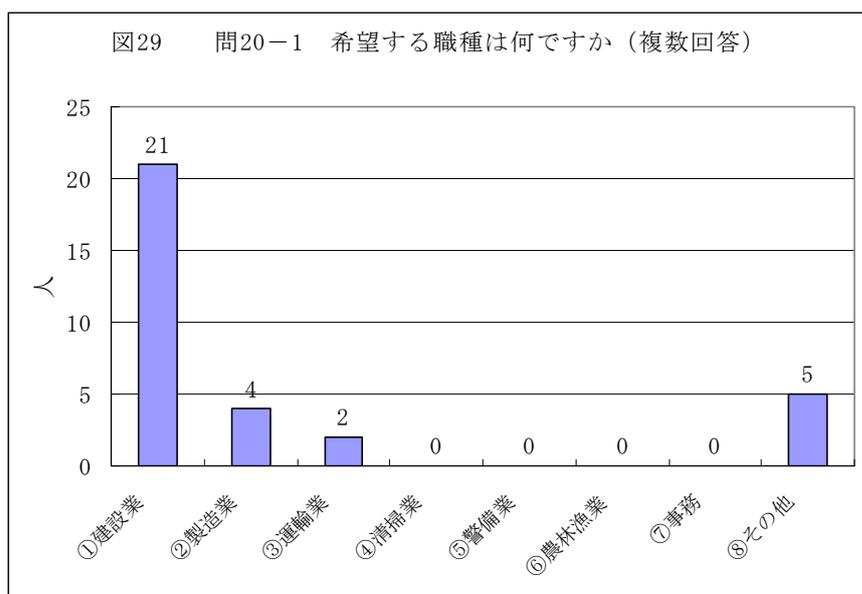


表 42、図 29 は、会社勤めなど常用の仕事を希望していると回答した者に対して、希望

する職種を複数回答で聞いた結果を示したものである。「建設業」と回答した者が最も多く 21 人（72.4%）で 7 割を超えており、突出して多くなっている。

表 43 問 20-2 常用就職するために、どのような手助けがほしいでしょうか(複数回答)

	人数	割合
①技能講習	9	32.1
②現場実習訓練	1	3.6
③教養講座	0	0.0
④求人情報の提供	13	46.4
⑤自分に向けた就職のあっせん	11	39.3
⑥適性相談(キャリアカウンセリング)	2	7.1
⑦就職活動のノウハウの提供(履歴書の書き方や面接への対応方法など)	0	0.0
⑧当座の生活資金の援助	7	25.0
⑨住宅借り上げの支援(保証人)	6	21.4
⑩就職に当たっての身元保証	4	14.3
⑪就職後の相談支援	0	0.0
⑫その他	3	10.7
有効回答数	56	200.0
有効回答者数	28	
不明	1	
非該当	53	
合計	82	

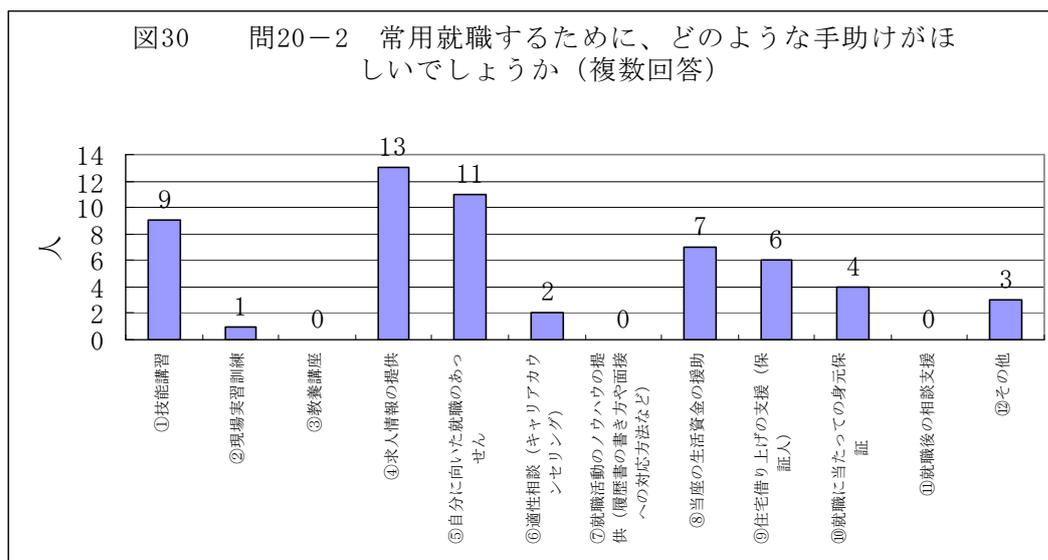
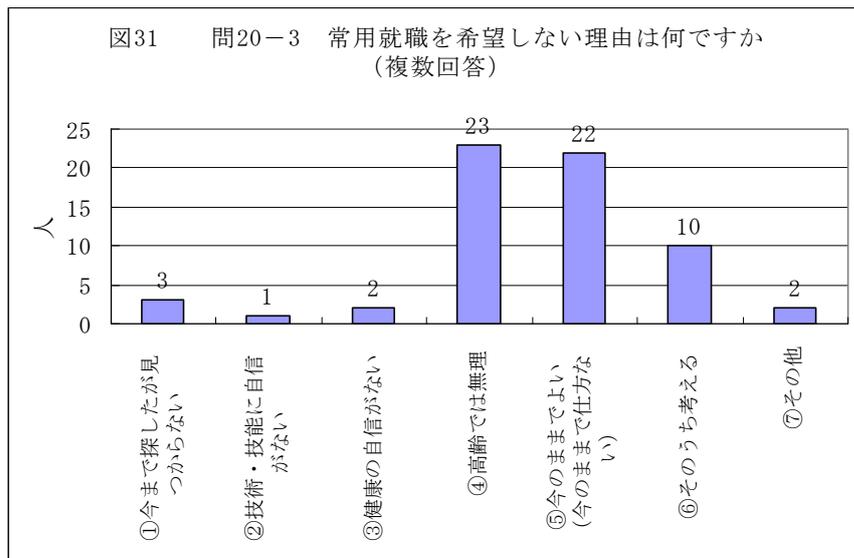


表 43、図 30 は、会社勤めなど常用の仕事我希望すると回答した者に対して、常用就職するために、どのような手助けがほしいかを複数回答で聞いた結果を示したものである。最も多かったのが「求人情報の提供」で 13 人（46.4%）と 4 割 5 分を超えている。次いで、「自分に向けた就職のあっせん」、「技能講習」と回答した者も多くなっており、それぞれ 11 人（39.4%）、9 人（32.1%）と一定数を占めている。

表 44 問 20-3 常用就職を希望しない理由は何ですか（複数回答）

	人数	割合
①今まで探したが見つからない	3	5.7
②技術・技能に自信がない	1	1.9
③健康の自信がない	2	3.8
④高齢では無理	23	43.4
⑤今のままでよい(今のままで仕方ない)	22	41.5
⑥そのうち考える	10	18.9
⑦その他	2	3.8
有効回答数	63	118.9
有効回答者数	53	
不明	0	
非該当	29	
合計	82	



会社勤めなど常用の仕事を希望しないと回答した者に対して、常用就職を希望しない理由を複数回答で聞いた結果を示したのが、表 44、図 31 である。「高齢では無理」と回答した者と「今のままでよい (今のままで仕方ない)」と回答した者が多く、それぞれ 23 人 (43.4%)、22 人 (41.5%) といずれも 4 割を超えている。